

障害者（児）実態・意向調査の結果について

1 目的

令和2年度に、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とした障害者・児計画を策定するにあたり、その基礎資料を得るとともに、障害者・児のサービス利用状況・希望及び障害福祉サービス事業所等の現状を把握するため、実態調査を実施。

2 調査対象者及び調査方法

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児、障害福祉サービス事業所を対象とした量的調査（アンケート調査）と、区内の障害福祉サービス事業所を利用する知的障害者、精神障害者を対象とした質的調査（インタビュー調査）を実施。

3 調査の内容

(1) 量的調査（アンケート調査）

- ① 在宅の方を対象にした調査
- ② 18歳未満の方を対象にした調査
- ③ 施設に入所している方を対象にした調査
- ④ サービス事業所の方を対象にした調査

(2) 質的調査（インタビュー調査）

日中及び施設での楽しみ、余暇の過ごし方、相談相手、区サービスの利用状況、今後の希望等をグループ・インタビューによって聞き取り

4 実施時期

(1) 量的調査（アンケート調査）

令和元年10月4日～令和元年10月31日

(2) 質的調査（インタビュー調査）

令和元年6月～令和元年7月

5 実施結果

(1) 量的調査（アンケート調査）回収状況

① 区民向け調査

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
在宅の方	4,610	2,022	43.9%
18歳未満の方	480	256	53.3%
施設に入所している方	142	70	49.3%
計	5,232	2,348	

② 事業所向け調査

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
サービス事業所	94	49	52.1%

(2) 質的調査（インタビュー調査）

区内施設（15 か所）の利用者 91 名に対して実施

6 調査結果

別紙のとおり